

## 2. 釧路市交通バリアフリーの現状と課題

これまでの「市民懇話会」および「フォーラム」、「検討委員会」、「検討部会」、「市民会議」の成果から、現状と課題まとめました。

### 現 状 と 課 題

#### 【旅客施設】

- JR 釧路駅（特定旅客施設）
  - 入口は平坦・自動ドア、2,3番のプラットホームへはエスカレーター（車イス対応）で行くことができるが、4,5番のプラットホームへは行けない。身障者用トイレが有り、待合室も車イス対応がされているが、**駅構内が完全にバリアフリー化されているわけではありません。**
  - 障害者用車両（タクシーも含む）専用乗降場が設置されました。
  - 身障者用駐車場は未整備**です。

#### 釧路駅前バスターミナル

- 低床バスの冬期対応など、課題もあることから、試験的な導入が行われている段階です。（低床バス：釧路バス1台、補助ステップバス：阿寒バス6台 H14.12月現在）
- バスターミナルではバリアフリー化の推進が必要となっています。**

#### 【歩道】

- 現在のバリアフリー化基準に適合した道路は国道38号（北大通まで）のみ**です。

#### 冬の対応

- ロードヒーティング
- JR 釧路駅地下道出入口（北口・南口）
- 北中・旭陸橋（車道のみ）
- 民間実施：未広町界隈周辺  
北大通（一部）
- 除雪
  - ・商店では、店舗前をまめに除雪していますが、空き店舗前は除雪されないため問題になっております。

#### 【交通弱者用押しボタン信号】

- ・合同庁舎付近1カ所のみ設置済み

#### 【身障者用駐車場】

- 公共施設、病院
  - ・整備されているところがほとんどです。
  - ・未広立体駐車場（バリアフリー対応）が建設されました。
- 商業施設や一般の駐車場
  - ・**ほとんど整備されておられません。**

#### 【身障者用トイレ】

- 公共施設、病院
  - ・整備されています。
- 商業施設
  - ・デパートでは整備されていますが、**銀行や小規模な商店などでは整備されていません。**

### 市民意見から導き出された課題

#### 【釧路市交通バリアフリーのあり方】

- ・だれもが使いやすいバリアフリーを目指すべき
- ・ソフト的な対応も大切
- ・利用して喜ばれるバリアフリーを目指すべき
- ・「バリアフリーにより、まちに人が来やすくなる。」というような、まちの活性化につながるバリアフリー化が大切

#### 【車イスでも歩きやすく安全な歩道の整備】

- ・段差解消が必要
- ・カラブロック、インターロッキングの凹凸が、車イス・歩行の妨げになる
- ・放置自転車への対応が必要

#### 【冬の対応】

- ・氷路面の対策が必要
- ・まめな除雪が大切
- ・除雪にも市民の協力が必要（除雪、除雪費用）
- ・重点的に除雪するルートを決める、除雪の優先順位を決めることが必要ではないか

#### 【移動円滑化の方法】

- ・駐車場と建物という経路も大切
- ・建物と建物を交通手段で結び、移動円滑化を図ることでもできるのではないかと（STS：Special Transport Service）

#### 【トータルに考えられたバリアフリー化が必要】

- ・建物・駐車場・身障者用トイレ・スロープなど、これらが部分的にしか整備されてなく、不十分
- ・バリアフリー化信号機の設置が必要ではないか
- ・わかりやすいサインの設置

スペシャルトランスポートサービス(STS:Special Transport Service):なんらかのハンディにより通常の交通機関が使えない層のために提供される公共交通のひとつであり、高齢者・身障者にモビリティを与えるもの。タクシー、高齢者・身障者送迎バス、ドア・ツー・ドアミニバスなどすべての高齢者・身障者用のモードが含まれる。狭義にはSTサービスはドア・ツー・ドアの本格的なシステムを指すことも多い

**移動円滑化における展開方向  
(何のために、誰のために)**

**ハードで対応しきれない部分はソフトで対応**

- ・高齢化社会。バリアフリー化があたり前になってくるだろう。
- ・ある程度のハード整備は可能だろうが、**すべてのものが完璧に整備できるわけではない。**
- ・冬期のバリアフリー化はハード整備だけでは対応できないだろう。
- ・**ハード整備で対応しきれない部分は人が補うことが大切ではないか。**

**ただ整備するのではなく、  
使う人の気持ちにたって行うことが大切**

- ・バリアフリー対応のものがただ整備されているだけというところが多い。**使う側の検証をしていなく、使えない場合も多い。**
- ・トイレだけ、などのように、そこだけがバリアフリー化されていても、そこに行くためのスロープがなかったり、**バリアフリー化が連動していないため、実際には使えない場合もある。**
- ・車イスには15cmでも壁になる。
- ・100cm程度が目の高さであり、情報の出し方にも工夫が必要。

**冬の対応**

- ・冬の対応が図られているものは、**すべてのシーズンに通用する物となるのではないが。**
- ・除雪もただやるのではなく、**配慮やさしさを持ってやるのが大切。**
- ・北大通りは商店街で除雪を行うなどの努力をしている。一本裏に入ったり、空き店舗の前は対応されていない状況となる。
- ・雪・氷については、釧路市独自に取り組みが望まれる。

**だれもが**

- ・車イスの人も、誰でも使いやすい。
- ・障害にもさまざまな種類があるため必要なものが異なる。**多面性に配慮しつつ整備することが必要。**

**釧路市交通バリアフリーで大切にすべきこと**

**市民みずから参加するバリアフリー**

- ・**関係機関との連携や市民との協働によるバリアフリー整備促進**
- ・バリアフリー化に伴う住民の理解が必要
- ・市民協同参画による構想づくりが必要
- ・福祉のまちづくり、条例による住民指導が必要

**ソフト面でのバリアフリー**

- ・**困っている人がいたらお手伝いできる人づくりが大切。**
- ・自然に行動できる意識的に行動できるバリアフリー。
- ・完全なバリアフリー化というのは物理的・コスト的にも不可能。あとは人間の問題。手伝ってほしいと言わなくても手伝うような社会をつくる必要がある。
- ・交通バリアフリーは移動円滑化の手段だが、**支えあう交流の手段でもあるのではないが。**
- ・モラルが必要。歩道(広くしたら)を車で走られたりする。市民の取り組みとモラルの問題。
- ・町内会で自主的に除雪している。**自分たちも参加するという気持ちを持ち合う。**

**人と人とのつながりが、バリアフリーを充実させる**

- ・バリアフリーというのは、**人と人とのつながりによってその効果を発揮するのではないが。**

**だれもが生き生きと活動できる環境づくり**

- ・**身障者も健常者も誰もが享受できるバリアフリー**を目指すことが望まれる。
- ・バリアフリーにおいて、幼児・子どもを含めた考え方が必要。
- ・市民と同じく観光客も使えるバリアフリー化が望まれる。
- ・**いつでも、どこでも自由に。**
- ・車中心から、人中心への考え方へ。

**使う人の気持ちにたったバリアフリー化**

- ・ことばだけのバリアフリーはいらない。
- ・使う人のことを考えてなく、せっかく作ったものでも使えないことがある。作る側の意識も改革するべき。
- ・部分だけの整備ではだめ、**トータルに考えたバリアフリーが必要。**

**冬にも快適に過ごせる環境づくり**

- ・**冬を克服するバリアフリーを目指したい。**
- ・釧路は日照量があるので除雪した後は路面が出たまま保たれる。

“釧路のまちなか”ってどんなところ？

まちなかに  
来る目的

- ・ 仕事
- ・ 通学
- ・ 手続き
- ・ 銀行
- ・ 交通拠点
- ・ 交流
- ・ 繁華街
- ・ 食事
- ・ 買い物
- ・ 観光案内

“釧路の  
まちなか”の課題

- ・ **気軽に活動できるスペースがない**
- ・ **長時間滞在できない**
- ・ 北大通(空き店舗の解消)
- ・ 北大通(広い幅員、渡るのには不便)
- ・ 北大通(バリアフリーではなく歩みにくい)
- ・ **観光情報の発信が不十分**
- ・ **わかりやすく個性的な案内サインがない**
- ・ 良いものを活かしてない
- ・ 活性化のための対策が必要
- ・ 商店街(ウインドショッピングの充実)
- ・ 商店街(価格が高い)
- ・ 商店街(商業者同士の連携・協力)
- ・ 商店街(テナント料が高い?)
- ・ 商店街(店(個性・特色)、イベントの充実)
- ・ ホテル(部屋までバリアフリーのホテルがない)
- ・ 公共施設・観光施設が人の導線を考えていない
- ・ 冬(除排雪の仕方悪さ)
- ・ **まちなかに住む人が少ない**
- ・ 緑、木が少ない
- ・ 信号が交通量と一致していない
- ・ 裏通りの文化がない

まちなかに来ない理由

- ・ 買い物(行きたいお店がない)
- ・ 食事・喫茶店(行きたいお店がない)
- ・ 繁華街(店・道バリアフリーではない)
- ・ 駐車場(使いづらい、足りない)
- ・ 休憩スペースの不足(場所・ベンチ)
- ・ **冬路が悪い**
- ・ バスの利便性が悪い
- ・ 横断歩道の信号が早い

“釧路のまちなか”の良いところ

- ・ 北大通(そこでしか売っていない物がある、シンボルロード)
- ・ 交通拠点
- ・ 商店街(歩いて回れる、客と店との交流、老舗が多い)
- ・ 食事(魚が新鮮)
- ・ 繁華街
- ・ 観光資源・施設が多くある
- ・ 外から人を受け入れる
- ・ 家賃は安い
- ・ 地震に強い

“もっと良くするためには、  
何が必要？  
どんな可能性がある？”

- ・ 北大通(横通りとの友好的な連携・活用)
- ・ 北大通(休憩スペースの形成:ベンチの設置)
- ・ ポケットパークの設置(休憩スペースの整備)
- ・ 北大通(専用道路の形成)
- ・ 北大通(広い幅員・車線の活用)
- ・ 北大通(ピオトープの形成)
- ・ 北大通(アーケード化)
- ・ **気軽に入れる喫茶店・お店(バリアフリー・身障トイレ完備)**
- ・ 高齢・身障者が使いながら良くしていく、バリアフリーなまちなか形成
- ・ 一日バリアフリーデーを企画
- ・ **商店街に核店舗をつくる**
- ・ 特色・個性のあるサービス・商品を提供する商店街の形成
- ・ 空き店舗(提供・活用)
- ・ 遊びの場・交流スペースを増やす
- ・ まちなか居住の推進
- ・ コンパクトなまちなかの形成
- ・ **前向きな市民運動の展開**
- ・ 霧の街くしろをまちの売りにする
- ・ まちなかに音の出る演出
- ・ 岸壁を利用したアートの展開
- ・ 使いやすい駐車場の形成
- ・ 真心交流
- ・ 連携

こんなまちなかにしたい！

市民が行動できること

- ・ 市民が手を貸し、**人がバリアフリーを補う**
- ・ 北大通・商店街に関心を持ってもらう
- ・ イベント等への積極的な参加・交流

商店・事業者が行動できること

- ・ イベントの企画・開催
- ・ 歩くだけでも楽しい商店街の形成
- ・ **消費者と店側のコミュニケーションの充実による消費者のニーズをとらえたサービスの提供**
- ・ そこでしか買えない商店街の形成
- ・ 各店が連携し、清掃・除排雪を充実
- ・ **各店でバリアフリー表示をする(手話・車イスを押すなど)**
- ・ 地場の食事が楽しめるようにする
- ・ 映画館、ピリヤード場など、新しい施設の整備
- ・ 北大通と共栄大通りの同時リニューアル
- ・ 商店街を一つに
- ・ 空き店舗活用日の創設
- ・ 空き店舗活用(バス停、まちかど美術館)
- ・ 空き店舗活用(学生の学習スペース、イベントセンター)
- ・ 商店街による駐車場の無料・割引共通券発行
- ・ 日曜日を歩行者天国に
- ・ M00 から地ビールまでの渡し船の運航
- ・ ホテルの部屋まですべて車イス対応
- ・ **北大通に滞在する時間を長くする工夫**
- ・ 普通の人、高齢者、身障者も楽しいまち
- ・ バスの利便性を高め、活用しやすくする
- ・ **高齢者のまちなか居住(高齢者が託児所の手助けをして、若い家族が買い物・仕事をまちなかでできる仕組みづくり)**

行政が行うこと

- ・ 歩道の傾斜、段差、点字ブロックの改良など、バリアフリーの道づくり
- ・ **最低限の基盤整備**
- ・ わかりやすい交通案内サインの設置
- ・ バス停、駐車場と商店、官公庁とのアクセスの充実、通路の確保
- ・ イベントの開催できる場所の整備・提供
- ・ 観光資源の充実
- ・ 鉄道の高架化
- ・ 駐車場の設置、土地がなければビル化、地下
- ・ 両側の一車線を駐車帯にする
- ・ 減免、税金、支援、(備品リサイクル)
- ・ **市民のバリアフリーへの関心を高める取り組み、参加・情報公開の充実**
- ・ 街を全体的にコンパクトにまとめる
- ・ 高齢者向けバリアフリー住宅の整備
- ・ 駅から幣舞橋までに広く緑地帯を形成する
- ・ 冬道の問題解決
- ・ 冬の街並みを楽しめる交通アクセスなり路面整備

その他

- ・ 交通安全に配慮した歩道植樹帯の形成
- ・ インパクトのあるまちづくり
- ・ バスターミナル内休憩所の充実
- ・ バスターミナルの安全化、冬も安全なバス停の整備
- ・ 公共交通機関(バス等)の利便性の改善
- ・ 駅周辺の交通道路の整備
- ・ 使いやすい駐車場の整備
- ・ 駐車場料金の見直し
- ・ 駐車場の不便さが気にならない魅力的なまちづくり

## 交通バリアフリーの課題

### 1. だれもが移動しやすく、すごしやすいまちなかづくり

- ・使う側にたった、使い勝手のいい、バリアフリー整備（公共施設、観光施設、商店、繁華街などまちなかすべてが対象）を目指す必要があります。

### 2. ハード整備できない部分は人が補うバリアフリー環境の形成

- ・完璧なハード整備を行うことは難しい = “ 最低限のバリアフリー化は必要 ”
- ・ハード整備できない部分は人が補っていける環境の形成に向けた取り組みを検討する必要があります。

（具体例）

- ・市民が気軽に手をかす、声をかけられるようバリアフリーに関する勉強会などを開催する。
- ・各商店・施設で、「バリアフリー整備されている部分」および「手助けできる」表示を行い入りやすくする

### 3. スペシャルトランスポートサービスの充実

- ・通常の公共交通機関が使えない方々に提供するドア・ツー・ドアで移動できる公共交通手法の充実に向けた検討を行う必要があります。

（具体例：ミニバス、タクシー、高齢者・身障者送迎バス）

### 4. 冬道のバリアフリー化対応に向けた方法の検討

- ・冬道のバリアフリー化には行政、商店・事業者、市民それぞれの協力が必要です。それぞれの役割と取り組みを明確化し、バリアフリー化を目指すことが望まれます。

（具体例）

行政：除雪の充実、排雪方法の改善。（可能性）歩道に手すりを設置できないか検討

商店・事業者：各店が協力して、除排雪・清掃を充実する

市民：市民が協力して、除排雪・清掃を充実する

### 5. まちなかの魅力を高める

商店街の魅力を高める

- ・まちなかでしか買えない、行けないお店の充実
- ・客と店とのコミュニケーションを深め、客のニーズに合わせたサービスの提供を行う
- ・空き店舗の活用

長時間滞在できるまちなかを形成する

- ・休憩できるスペースの充実

駐車場を使いやすくする

- ・目的地より遠くても使うような付加価値をつける
- ・駐車場が整備されていることをもっとPRする

情報発信能力を高める

個性のある人々、釧路のまちなかを愛している人たちを増やし、活躍してもらう

まちなか居住を推進し、まちなかの定住人口を高める